

「Q-1 ～U-18が未来を変える★研究発表SHOW～」
「こどもホスピス ～いのち輝く“第2のおうち”～」
2023 日本民間放送連盟賞・番組部門 近畿地区審査 同時1位通過！

朝日放送テレビ制作の「Q-1 ～U-18が未来を変える★研究発表SHOW～」(2022年9月18日放送)と「こどもホスピス ～いのち輝く“第2のおうち”～」(2022年11月11日放送)が、2023年日本民間放送連盟賞番組部門の<テレビ教養番組><テレビ報道番組>でそれぞれ近畿地区審査を1位で通過し、中央審査会に進むことになりました。中央審査会は、8月に予定されています。

番組部門<テレビ教養番組> 中央審査進出(近畿地区1位通過)

「Q-1 ～U-18が未来を変える★研究発表SHOW～」

2022年9月18日(日)14:55～16:25 放送 (TVerで見逃し配信中)

【内容】

探究に青春をかけた U-18 による本気の研究発表会が『Q-1』だ。それぞれ 9 分間のプレゼンテーションで競い合う、まさに“知の甲子園”が誕生！最も「未来・世界を変える探究」だとジャッジされると“最優秀イノベーター”として表彰される。

2022年『Q-1』に出場する4組のイノベーターは、灘高等学校(兵庫)、県立高崎高等学校(群馬)、芝浦工業大学柏高等学校(千葉)、広尾学園高等学校(東京)、それぞれの高校で一目置かれる異才たち。

大会の審査は、東京大学先端研の教授や京都大学前総長、世界的企業の部長、大阪・関西万博プロデューサー、更には経産省の官僚といった、各界のスペシャリストたちが務めた。番組では“多種多様な評価”を大事にしており、審査員長の林修先生を含めて総勢56名が企画意図に賛同し愛情ある審査をしてくれた。

高崎高校の高田悠希さんは、学び始めてわずか1年というプログラミングを駆使して、視覚障害者のための AI 白杖を発明！(その後彼は、日本学生科学賞最優秀賞を獲得し、日本代表としてアメリカで開催された国際大会 ISEF に出場)そして、男女混同チームである、広尾学園高校の板橋穂南さん・保坂美結さん・山本康生さんは、数学を愛する高校生だ。世界的数学者も驚く独自の理論を展開する。「世界でまだ誰も知らない領域の最先端を数学では見ることができる」と山本さんが語ったのが印象深い。

更に番組では、大会前、大会後の高校生たちに密着取材した。大会後に、U-18のみならず審査員も目をキラキラさせていた理由とはいったい！？探究に青春をかけた高校生たちの熱き群像劇にご注目ください！

【スタッフ】

プロデューサー … 桑山 哲治、平田 翔子、安井 一成、田中 和也、青山 速己
演出 … 菅沼 誠、綿部 裕基
構成 … 矢野 了平、成子 貴也



番組部門<テレビ報道番組> 中央審査進出(近畿地区1位通過)

「こどもホスピス ～いのち輝く“第2のおうち”～」

2022年11月11日(金)26:04～27:23 放送 (YouTube チャンネル「ABC テレビニュース」で公開中)

【内容】

がんや心臓病などの重い病気と闘っている子どもたちは、国内に2万人いるとされている。長い入院生活で孤立感を深める子どもたちやその家族のために、安心して好きなことを学び、遊べる”第2の家”を提供するのが「こどもホスピス」だ。2016年、全国で初めて開所した大阪の民間小児ホスピス「TSURUMI こどもホスピス」に長期密着。

病と懸命に闘う子どもと家族、寄り添うスタッフと支援者、最愛の子を亡くし新たな施設の立ち上げに奔走する母の姿を追った。TSURUMI こどもホスピスがまいた種は、いま、各地で花を咲かそうとしている。



【スタッフ】

プロデューサー … 西 一樹
ディレクター … 長谷川 健
ナレーション … 桂 紗綾